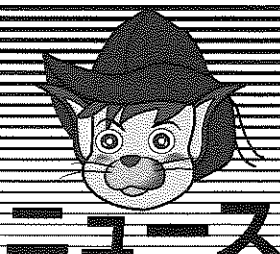


NOU



ニュース

明るく楽しいアミューズメントの創造

AOUニュース 10月号

発行人 社団法人全日本アミューズメント
施設営業者協会連合会

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-4-1
TSI須田町ビル6F

TEL. 03(3253)5671~2 FAX. 03(3253)5688

<http://www.aou.or.jp/>

編集人 AOU広報委員会

発行日 平成14年10月15日

3団体「ゲームの日」(11月23日)間近!

ポスター、来場者アンケート用紙等は10月下旬、
各都道府県協会傘下の会員に直接配送予定

JR東京駅
にて
コアイベント

各社の人気キャラ勢揃いで、今年のキャッチは「国民の楽日」!

11月23日 国民の楽日

ゲームの日は、アナタの日。

AOU、JAMMA、NSAの業界3団体による第8回「ゲームの日」まで1ヶ月余りとなりました。

例年通りの「アミューズメントラブ・エイド」「ファン感謝イベント」「来場者アンケート」に加え、昨年に引き続き、コアイベントも実施。今年は、JR東京駅八重洲中央口コンコースを会場とし、11月23日11時~19時、特設ゲーム場を開設して来場者に無料でゲームを楽しんでいただく他、3団体「ゲームの日」のオリジナル風船や卓上カレンダーをプレゼント。一般のゲームファンはもちろんのこと直接ゲーム場に足を向けたことのない人達に対してもゲームの健全性や楽しさをアピールします。

なお、今年は風船配布キャンペーンを目玉の1つに据え、全国レベルで展開すべく呼びかけています。

3団体「ゲームの日」の告知ポスターも完成しました。昨年と同じく各社のゲームキャラクターの集合体をデザインし、A1サイズで7000枚を製作。10月下旬、各都道府県協会傘下の会員に直接、アンケート用紙(50万枚製作)、抽選箱(5000箱製作)とともに先頃のアンケート調査で回答いただいた希望数を配送する予定となっています。目立つ場所に掲示し、11月23日の3団体「ゲームの日」をアピールしてください。

平成14年度「AOU全国大会」

【日時】平成14年11月6日(水) 13時より受付開始

【場所】山梨県石和温泉「銘石の宿 かげつ」(山梨県石和町川中島385 TEL055-262-4526)
(JR中央本線「石和温泉」駅下車 送迎バスまたは乗用車にて5分)

【参加費】一人2万5000円(当日受付にて)

【スケジュール】

◎全体会議 14時30分~16時30分 議題「財政基盤の整備」について他、感謝状贈呈、模範優良店表彰

◎講演会 16時40分~18時

演題「どうなるこれからの日本」~テレビの裏側から~

国際エコノミスト 若林正人氏

※昭和35年、東京大学法学部を卒業後、東京銀行入行。社命で西ドイツのマールブルグ大学に1年間留学の後、デュッセルドルフ、フランクフルト、ハンブルグの各支店勤務、ウィーン主席駐在員をつとめる。昭和60年、テレビ朝日の報道番組『ニュースステーション』の一般公募で6000人の中からキャスターとして採用され、経済を一般市民にわかりやすく解説できるキャスターとして反響を呼んだ。現在、関西テレビにレギュラー出演。

◎懇親会 19時~21時

◎二次会 21時~(会費5000円)

◎朝食 7時~(ゴルフ組はお弁当を用意)

【レジャー行事】

A. ゴルフ組 11月7日(木) 午前7時45分 IN・OUT同時スタート

富士桜カントリー倶楽部(山梨県南都留郡河口湖町木立7187-4 TEL0555-73-2211)

参加費5000円、プレイ費(約1万7000円)は各自負担

B. 観光組 11月7日(木) ホテル発8時

昇仙峡→サントリーワイナリー見学(昼食)→河口湖→三島駅(15時20分予定)

参加費8000円

AOUの主要行事予定

11月23日	11月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日
(土)	(日)	(水)	(木)	(金)	(火)
3団体「ゲームの日」	全国大会(山梨県石和)	青少年指導員養成講座	理事会・運営委員会・政策委員会合同会議		

第6回財政研究会

日時／平成14年9月6日
午後2時～4時

場所／AOU事務局会議室
出席／8名+事務局3名
へ主な内容

◎財政基盤の整備について

準広域オペレーター及び各地区協議会での検討会が一巡した段階で、これらの検討会で出た主な意見・提案等について確認した。

主な意見・提案等については大筋のところでは出揃ったと判断して、これらの意見・提案等を基に改定案の見直しを行うこととした。



第17回政策委員会

日時／9月10日

午後2時～4時30分

場所／AOU事務局会議室
出席／11名+事務局2名
へ主な内容

◎AOU2003アミューズメント・エキスポについて

事務局が開催骨子の検討案、永井事業委員長がアミューズメントマシンショーとの比較等についてそれぞれ説明。検討案の内容を討議した結果、次の事項を決定し、運営委員会に諮ることとした。

- ▼展示会名、テーマ、会場は従来通りを踏襲する。
- ▼開催期間は、平成15年2月21日(金曜日、業者招待日)と2月22日(土曜日、一般公開日)の2日間とする。
- ▼出展料は前回と同額とする。
- ▼入場料は一般来場者の増加を図る目的で、次のような料金体系に改めて値下げすることとした。
- ▼会員招待券 無償配布
- ▼招待券 500円
- ▼一般入場券 1000円

割引券 700円

▼小学生及び60歳以上無料
▼開催実務については、例年通りの条件で東京都アミューズメント施設営業業者協会に業務委託する。

▼開催業務の総合管理は事業委員会が管掌し、実務の実行にあたっては東京都協会が選任した委員を加えてエキスポ実行委員会を構成して行うものとする。

▼今回新たに次の事項を実施する。

- ①該当メーカーの了解を得た中古機械の展示を認める。
- ②景品の価格を2日目(一般公開日)には表示しない。
- ③景品の取扱いライセンスの有無を厳重チェックする。

◎財政基盤の整備について

9月6日開催の財政研究会での検討事項について、その内容を了承した。

今後は再度財政研究会を開催して、会費改定案の成案をとりまとめることにし、その成案を10月22日開催の合同会議(理事会、運営委員会、政策委員会)に提案することを決めた。

◎全国大会開催要領について

煙委員が資料に基づき開催要領案について説明。内容を討議した結果、本年度は重要案件である「財政基盤の整備」について参加者全員が出席している場で協議することが望ましいことから、全国協会長

会議と全体会議を合同で開催することにした。また、東海地区協議会が計画している若林正人氏の講演会、その他スケジュール等について原案通りの実施を了解。

なお、過日協会長を退任した田中龍雄氏(北海道)と萩田雅重氏(山口県)に対し、取決めの在任8年以上を満たしていることから、全国大会に招待して感謝状を贈呈することを決め、例年行っている模範優良店表彰の実施については健全営業推進委員会の検討に委ねることとした。

◎その他

位田委員からAOUの広報、特に業界誌との関係について、より積極的に連携を図り情報公開を積極的に進めるべきであるとの提言があった。



第40回アミューズメントマシンショー

(社)日本アミューズメントマシン工業協会(JAMMA)と全日本遊園施設協会(JAPEA)主催の「第40回アミューズメントマシンショー」が9月19日(木)～21日(土)の3日間、東京ビッグサイト(東1～3ホール)で開催された。後援は、経済産業省、国土交通省、(財)自由時間デザイン協会、日本経済新聞社。



JAMMAの中村雅哉名誉会長、柿原彬人会長、JAPEAの山田三郎会長、林隆ショー運営委員長、亀井静香衆議院議員らのテープカットで開場。「遊から生まれる豊かな心」をテーマに58社(昨年は56社)が出展した。例年同様、1・2日目がビジネスデー、3日目はパブリックデーとして一般に公開(中学生以上1000円、小学生以下および60歳以上は無料)。

来場者は3日間で3万1094名(昨年は3万87名)。内訳は、ビジネス来場者2万822名(同2万601名)、一般来場者9691名(8912名)、プレス関係者581名(同574名)となり、いずれも昨年より増加。

なお、初日である19日、午後6時～8時、赤坂プリンスホテル・クリスタルパレスにおいて合同パーティが行われた。



第23回アミューズメント施設管理者のための青少年指導員養成講座(AOU青少年アドバイザー養成講座)

日時/平成14年9月13日

午後2時～4時30分

場所/AOU事務局会議室

出席/5名+事務局3名

〈主な内容〉

平成14年度事業の推進に關し、次の通り所管事業のそれぞれについて昨年度の実施状況を確認するとともに、本年度の実施に向けての改善点、将来に向けての方向性等を協議した。

模範優良店表彰について

現状を分析し協議した結果、「地区によっては大手広域の店舗が主な会員なので毎年広

域3社を推薦対象としている

「既に過去に表彰されているので選ぶ店舗がない」

「新店だけが選ぶ対象になっ

てしまっている」

「現実には持ち回りのような推薦の状況になっている」

「優良な店舗には優良マークを配布して提示したらどうか」という意見が出たため、これを

を勘案し、今後の存続や選考方法等について運営委員会へ諮ることとした。

また、優良マーク(ステッカー)の配布については、今後検討することとした。

年間優秀機械表彰について

現状では、AOU賛助会員メーカーから自社製品を3機種自薦してもらいアーケード部門と乗物部門に分けてノミ

ネットしたもの各都道府県協会が前者10機種、後者2機種ずつ投票、各メーカーの上

位1機種を表彰することになっているが、こうした選考基準・選考方法について協議。

「インカムがいい機械に偏る傾向にある」

「オペレーターによって判断基準がそれぞれ違う」

「県協会では優秀機の選択基準について特に設けていない」

「故障率が低かったり、アイデアがいいものなどの表彰を

したらどうか(中小規模の会社も表彰対象になる)」

「表彰を続けるのであれば簡素化したほうがいい」

「表彰盾をやめて感謝状にしたらどうか」

「当委員会では機種を選考してはどうか」

の意見が出たことから、従来の選考方法のままでは問題がある」と認識が一致。運営委員会に諮ったうえで表彰のあり方について検討することとした。

AOUステッカーについて

事務局から、AOUステッカーと標旗(のぼり)は、当初の申込み以降、新規・追加(消耗による)含めて申込みがほとんど増えていないこと、またAOUステッカーや標旗(のぼり)のキャンペーンをAOUニュース等で会員に対して呼びかけているものの反応があまり出てきていないとの報告があった。

これについて「AOUステッカー等を掲示する必要性を高めることが大事」

「ゲームの日やエキスポショーなどの際、会員だけの販促キャンペーンを行い非会員との差別化を図る」

「そして、一般ユーザーへの認識を周知させる」

との意見が出て、今後の検討課題とした。

啓蒙ポスターについて

例年通り作成の方向とする

COLUMN

伝統の祭り、創りあげた祭り、創りあげた祭りは根元的な人間のレジャー

各地から夏祭り、秋祭りのニュースが伝わってきている。テレビでそれらの画像を観ているうちに、いささか異な感じにとらわれた。何百年も続く伝統的な祭りがある一方、新しく創られた祭りがあり、しかも参加者も多く、人気も知名度も高い例が少なくないことである。

またそのなかには、〈阿波踊り〉や〈よさこい〉など、地域をあげての熱狂ぶり知られる他の地方の祭りを導入したものがある。

たとえば東京高円寺の「阿波踊り」は今年で46回を数えるという。この徳島の伝統祭りは、今では高円寺に

限らず東京にいくつもあるのだ。

単純明快なへわかりやすい踊りが主体の祭りであること、そして、ここまで

広まれば、本場阿波の「連」をはじめ各地の「連」が参加できるし、いわば地域間の交流も図れることも人気の秘訣のひとつだろう。

筆者は新開拓地の片田舎で生まれ育ったので、子どもの頃、祭りに熱狂した記憶はない。そのため古い伝統をもつ地方をうらやましくも思っていた。だが、祭りは創り出せるものだと感じた夏であった。イベントを定例化すると祭りになるとは、以前にも述べたこと

だが、確かに祭りになったイベントはごく身近にもあったのである。

先に開催された「アミューズメントマシンショー」は、第40回であった。今年はやや地味になった観があり、商談の場としてはかえって良かったという意見もあった。しかし、AMショーもまた、関係者や一般のユーザーが一堂に会する祭りでもある。

我々の業界が創り出した祭りを今後も大事に守っていかねばならない。祭りは最も根元的な人間のレジャーなのだから。(N)

第23回アミューズメント施設管理者のための青少年指導員養成講座(AOU青少年アドバイザー養成講座)

AOUが、(社)青少年育成国民会議の全面的な協力を得て毎年開催している〈アミューズメント施設管理者のための青少年指導員養成講座〉。受講者には「AOU青少年アドバイザー」として、それぞれの地域における青少年対策の中核としての活躍を期待しています。今年度は以下の通り実施されます。

日時/平成14年10月24日(木)～25日(金)

会場/国立オリンピック記念青少年総合センター

センター棟3F309号室

(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

TEL03-3467-7201

主催/(社)全日本アミューズメント施設営業者協会連合会

共催/(社)青少年育成国民会議

会費/1名10,000円(宿泊費、食事代を含む)

■受講者には「受講証」を送付します。当日ご持参ください。

■食事、宿泊は研修センター内の施設を使用します。青少年教育施設のため、洗面具、寝間着等の用意はありません。各自でご用意ください。

■筆記用具を持参のうえ、ネクタイ着用(男性)でご参加ください。

【講座内容と日程概要】

10月24日(木)

12:00～集合受付、オリエンテーション

(1) 開講式

(2) 講義「養成講座の意義とねらい」

講師/(社)青少年育成国民会議部長

森田廣氏

(3) 講義「青少年アドバイザーの実務と役割」

講師/(同上) 森田廣氏

(4) グループ討議「店舗における青少年との問題」

10月25日(金) 8:30 集合(昼食後、自由解散)

(1) 全体会

(2) まとめ

(3) 閉講式

が、枚数については多すぎてある場所がないという声もあることから、ゲームの日のポスター頒布枚数(各都道府県協会へ必要枚数のアンケートをとっている)を参考に

平成13年度アミューズメント産業界の実態調査

市場規模全体額 2兆2335億円

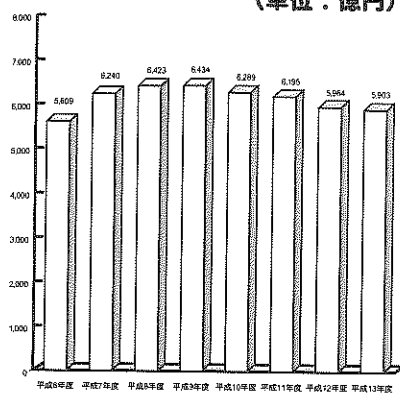
オペレーション売上高は、うち5903億円

AOU、JAMMA、NSAの業界3団体による平成13年度「アミューズメント産業界の実態調査」の報告書が9月19日発表された。

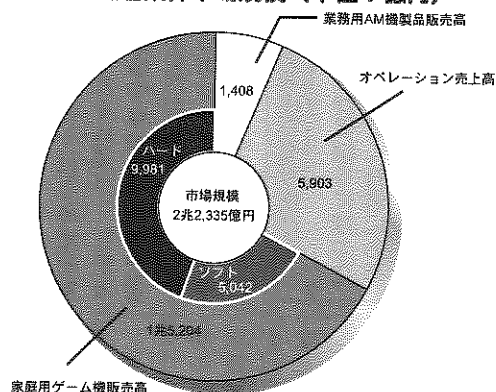
アミューズメント業界の諸データを整備して規模を把握、健全で文化的に良質な産業に高めることを目的に平成5年度から実施しているこの調査は、今回で9回目。調査対象は、AOU、JAMMA、NSAの3団体企業を中心にその他いずれも団体にも加盟していないアミューズメント業界の企業、家庭用ゲーム機のハード・ソフトのメーカーを加え、あわせて1028の企業で、平成14年5月7日～7月25日の期間で実施した。調査方法は、自記式による郵送調査。回収数は310（うち有効回収数284）。

なお、例年通り、調査機関として（財）自由時間デザイン協会（旧（財）余暇開発センター）に調査実務を委託した。

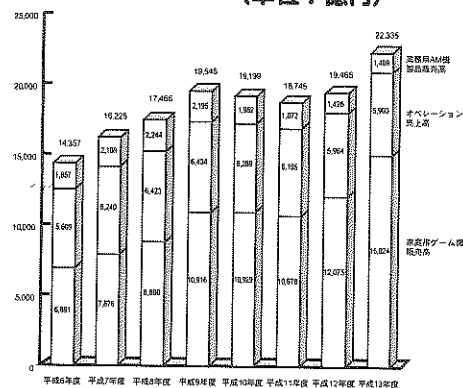
オペレーションの売上高の推移
（単位：億円）



平成13年度
AM産業界市場規模（単位：億円）



AM産業界の市場規模の推移
（単位：億円）



■オペレーションの売上高

年度		平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
オペレーション売上高	売上高 (億円)	6,423	6,434	6,289	6,195	5,964	5,903
	対前年伸び率 (%)	2.9%	0.2%	-2.3%	-1.5%	-3.7%	-1.0%
設置台数	台数 (万台)	89.1	88.1	86.7	86.6	80.6	77.3
	対前年伸び率 (%)	1.6%	-1.1%	-1.6%	-0.1%	-6.9%	-4.1%
1台当たりの年間売上高	売上高 (万円)	72.1	73.1	72.6	71.6	74.0	76.3
	対前年伸び率 (%)	1.3%	1.4%	-0.7%	-1.4%	3.4%	3.1%

■主な種類別オペレーション売上高

年度		平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
テレビゲーム	オペレーション売上高 (億円)	1,990	1,880	1,529	1,321	1,124	888
	設置台数 (万台)	39.5	39.0	34.8	29.9	23.4	19.7
音楽ゲーム	オペレーション売上高 (億円)			247	344	246	194
	設置台数 (万台)			1.3	2.6	2.6	2.1
クレーン+他 景品提供機	オペレーション売上高 (億円)	1,948	1,917	2,309	2,373	2,151	2,264
	設置台数 (万台)	19.5	19.5	20.7	23.3	23.7	22.4
メダルゲーム	オペレーション売上高 (億円)	1,146	1,148	1,235	1,176	1,295	1,374
	設置台数 (万台)	13.6	14.6	16.6	18.3	18.1	20.7
アミューズメ ントベンダー	オペレーション売上高 (億円)	604	1,013	418	395	511	564
	設置台数 (万台)	3.5	5.0	4.7	4.0	4.2	3.6

注) 伸び率=当該年度÷前年度-1

報告書によると、業務用AM機製品販売高、オペレーショ
ン売上高、家庭用ゲーム機
販売高を合わせたアミューズ
メント産業界の市場規模全体
額は、対前年伸び率14.7%の2
兆2335億円。調査を開始
して以来、初めて2兆円を突
破する結果となった。

これは、家庭用ゲーム機販
売高が1兆5024億円(対
前年伸び率24.4%)で前年を大
きく上回ったこと、業務用ア
ミューズメント産業界の売上
高(製品販売高+オペレーシ
ョン売上高)が7311億円
で前年を1.1%下回ったものの、
平成12年度の対前年伸び率マ
イナス8.4%から大きく改善さ
れたことによるもの。

業務用部門に関しては、「
売上こそ前年を下回る状況が
続いているものの、ネットワ
ークやカードシステムとアミ
ューズメント施設の融合を図
った新しいタイプのAM機が
開発され、市場に浸透し始め
るなど新しい兆しが見えてき
た。また、大型複合商業施設
内のアミューズメント施設が
増加し、手軽で健全な遊び場
として多くのファミリー客に
認知されていることや、高機
能のアミューズメントベンダ
ーが女性の支持層を広げてい
ることもあり、今後に期待で
きる状況になってきた」とま
とめられている。

以下、報告書の要約を一部
抜粋して紹介する。

オペレーションの売上高

5903億円(対前年伸び
率▲1.0%)は前年度を下回る
結果となったが、前年度(対
前年伸び率▲3.7%)からは2.7
%改善された。これは、前年
度より設置台数減少が鈍化し
たことと、1台当たりの年間
売上高の対前年伸び率がほぼ
前年並みだったことによる。

平成13年度の設置台数73万台
(対前年伸び率▲4.1%)、1
台当たりの年間売上高63万円
(対前年伸び率3.1%)。

内訳を主要業種別(6分類
：專業店舗、飲食店、ホテル
・旅館、スーパ・SC、ボ
ウリング場、その他)で見ると、
專業店舗売上高3407
億円(対前年伸び率▲9.1%)、
スーパ・SC売上高1996
3億円(対前年伸び率19.2%)
で計53770億円(対前年伸
び率▲0.5%)と売上高の91%
を占める。中小の不採算店舗
の閉鎖が進められたことによ
る專業店舗の売上上げ減(店舗
数・設置台数共に減少)をス
ーパ・SCの売上増(店舗
数・設置台数共に増加)でカ
バーした形となった。特にS
Cをキーテナントとする大型
複合商業施設内のアミューズ
メント施設が好調だった。

総設置店舗数については3
万1600店舗(対前年伸び
率▲5.7%)で前年度より19
08店舗減少。規模別では50
台以下設置店舗数の減少が相
変わらず続いており、51~100
台及び101台以上設置店舗数は
いずれも前年を上回る結果と
なった。これは業界各社が比
較的規模の大きい店舗を新設
し、採算性の低い小規模店の
閉鎖を進めていることによる。

主だった種類のオペレーシ
ョン売上高については、次の
通り。

【テレビゲーム】
売上高888億円(対前年
伸び率▲20.0%)、設置台数87
万台(対前年伸び率▲15.6%)
で、いずれも減少。専用筐体
と汎用筐体別に見ると、特に
大ヒット作が無かった専用筐
体が売上高423億円(対前年伸
び率▲17.8%)、設置台数74万
台(対前年伸び率▲2.5%)、
汎用筐体が売上高466億円(対
前年伸び率▲23.7%)、設置台
数123万台(対前年伸び率▲21.9
%)。汎用筐体は人気ソフト
が投入されたものの底上げに
は至らなかった。

【音楽ゲーム】
売上高194億円(対前年伸び
率▲21.1%)、設置台数21万台
(対前年伸び率▲18.3%)。新
ジャンルとして平成10年度に
登場して以来、4年目にして
初めて設置台数が減少に転じ
た。

【クレイン+他景品提供機】
売上高2264億円(対前
年伸び率5.3%)、設置台数24
万台(対前年伸び率▲5.5%)。

クレインと他景品提供機に分
けて見ると、前者が売上上げ・
設置台数共に増加したのに対
し、他景品提供機は売上上げ・
台数共に減少している。この
要因は、よりスキル性の高い
クレインゲームにプレイヤー
ニーズが多くなっていること
があげられる。

【メダルゲーム】
売上高1374億円(対前
年伸び率6.1%)、設置台数27
万台(対前年伸び率14.6%)と、
共に前年度を上回った。この
要因として大型マスメダルゲ
ーム機のヒット、パチンコ・
パチスロ等のシングルメダル

国内向け1202億円(対
前年伸び率0.0%)、海外向け
206億円(対前年伸び率▲
7.8%)。合計1408億円(対
前年伸び率▲1.3%)となり、
前年度の対前年伸び率▲12.2%
から大きく改善された。

国内向け種類別製品販売状
況について主だった点は次の
通り。

○テレビゲームの販売高は2
45億円(対前年伸び率▲13.5
%)。筐体ものは2年連続し
てヒット作に恵まれず対前年
伸び率▲3.6%だったが、基板
ソフト類はアクション系ゲー
ムの出荷増により対前年伸び
率14.1%とプラスに転じた。

○音楽ゲームの販売高49億円
(対前年伸び率▲23.7%)。平

業務用AM機および関連製品の販売高

機種の導入等があげられる。
【アミューズメントベンダー】
売上高564億円(対前年
伸び率10.6%)、設置台数36万
台(対前年伸び率▲14.0%)。売
上高は2年連続して前年を上
回った。高機能・高画質・高
付加価値でスタジオ並みの写
真が撮れる全身タイプが女性
の人気を博しており、1台当
たりの売上高189万円と種類
(ジャンル)別では最も高い。ま
た、設置台数が減少したのは、
全身タイプ(大型)の設置と
入れ替えに、顔だけを写す旧
来機(小型)の撤去が進んで
いることによる。

成11年度をピークに2年連続
して販売減となり、第一次音
ゲーブームは沈静化したよう
である。

○クレイン+他景品提供機の
販売高1107億円(対前年伸
び率▲4.6%)。クレインと他
景品提供機に分けて見ると、

クレインは26.9%、他景品提供
機は▲30.0%と対照的な結果と
なっている。

○メダルゲームの販売高22
3億円(対前年伸び率▲8.1%)。
過去2年間販売高を大きく伸
ばしてきたが、今回はマイナ
スに転じた。ただし、オペレ
ーション売上高は逆に売上高
・設置台数共に前年を上回っ
ている。3団体実態調査の製
品販売高は調査対象社からの
集計値であることから、この
差は調査非対象社からの店舗
への導入増によるものと考え
られる。

○アミューズメントベンダー
の販売高180億円(対前年
伸び率39.9%)。2年連続して
好調に推移している。アミュー
ズメントベンダーに対する
女性客の目も肥えてきており、
今後は真にハイクオリティな
機種のみが市場に受け入れら
れることになろう。

○景品類の販売高246億円
(対前年伸び率7.5%)。

家庭用ゲーム機および関連製品の販売高

1兆5000億円に達し、
対前年比で24%の伸びを示し
た。この好業績に寄与したの
は輸出(対前年比43%アップ)
とハード(同50%アップ)の
大幅な伸び。一方、ソフトの
製品販売高は5000億円台
をキープしたものの、対前年
比で13%ダウンとなっている。

報告書はAOUで一括
購入して各都道府県協会
に一部ずつ送付済み。追
加購入は会員1,000円、
非会員2,000円となってい
る。
販売窓口は、JAMM
A事務局
(03-3438-2363)。

お求めお問い合わせは
AOU事務局/TEL(03)3253-5671

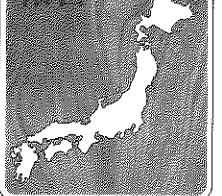
AOUステッカーをサポートする“のぼり”



AOUステッカー



協議会 地区報告



近畿地区協議会

15年度全国大会について討議
日時/9月26日(木)
午後3時30分〜5時30分

場所/梅田OSホテル
出席/7名+委任3名、
事務局1名

＜主な内容＞

◎平成15年度AOU全国大会開催について

近畿地区協議会の川楠会長が、兵庫県協会の手塚会長に平成15年度AOU全国大会開催について正式に要請。手塚会長が受諾した。

これにより開催に向けての準備として開催骨格の討議を行い、次のことが決定した。

▼開催時期：平成15年11月13日(木)〜14日(金)

▼開催場所：有馬グランドホテル。なお、一室四人使用を原則とし、料金は一人2万5000円に設定する。

▼委嘱旅行社：日本旅行(ホテル手配、交通機関、観光コース選定等を依頼する)

▼ゴルフコース：太平洋倶楽部 六甲コース(日本女子オープン開催の名門コース)

▼講演会講師：人選は今後詰めるが、著名な宗教家を予定。

▼コンパニオン：参加人員5名に1名を配属することを目標とする。

▼兵庫県の大会運営担当者：(株)三栄・田中一彦代表取締役、(株)サービステクススジヤパン・森透常務取締役

▼運営委員の人選：滋賀1名、京都1名、大阪10名、兵庫10名、奈良1名の割当を行った。

▼14年度大会についての対応：次年度開催の参考にもなることから、今年度の山梨県大会には多数の参加が望ましいため、各府県協会の14年度大会参加割当を決めた。また、関西からは交通手段があまり便利ではなく、交通費が高額になることから、協議会でチャーターしたバスで移動することを検討することとした。

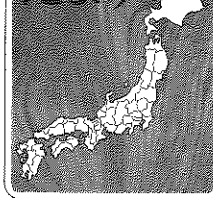
◎第8回3団体「ゲームの日」について

近畿地区として合同での開催はしないこととした。

◎優良店舗表彰について

山梨県アミューズメント施設営業者協会(畑晴夫会長)は9月3日、例会を開催した

各地協議会 だより



例会
9月3日

山梨県アミューズメント施設営業者協会(畑晴夫会長)は9月3日、例会を開催した

(午後3時、アルプス通り「サイゼリア」、出席8社8名)。主な内容は次の通り。

◎青少年の非行に取り組み県民大会参加報告

◎青少年社会環境健全化推進キャンペーン参加報告

◎AOU財政基盤整備に向けての東海地区懇談会参加報告

◎ねんりんピックについての打ち合わせ(9月14日午前7時〜午後4時まで、同イベントに参加。6社6名が参加し、ゲーム機8台を設置する)

◎AOU全国大会打ち合わせ
山形県アミューズメント施設営業者協会(松田修会長)は9月12日、定例会を開催した(午後5時、「じゅん平」、出席6社6名)。主な内容は次の通り。

◎ゲームの日について(県協会として、「ゲームの日」アンケートをAOUに送る前に抽選するかたちで、Wチャンスイベントを実施する)

◎青少年指導員養成講座について(説明し、参加を呼びかけた)

◎AOU東北地区協議会秋期理事会について(10月7・8日に実施。説明をして参加を呼びかけた)

◎その他(非会員の店舗で、プレイズ機やパチスロ機に高額商品を入れて度をすぎた運営をしているケースがあり、その対処法等を話し合った)。

会議終了後、懇親会を実施。

第6回理事会
9月12日

兵庫アミューズメント施設営業者協会(手塚明雄会長)は9月12日、第6回理事会を開催(午後3時〜5時、センタラザ西館6F貸会議室、出席10名)。平成15年度のAOU全国大会は近畿地区協議会が担当することになっているが、兵庫県が候補地として予定されているため、その日時、場所等について検討した。

◎第1000回理事会
9月13日

大阪府アミューズメント施設営業者協会(川楠俊太郎会長)は9月13日、第1000回理事会を開催した(午後3時30分〜5時30分、大阪産業会館、出席10名+委任12名、オブザーバー2名)。主な内容は次の通り。

◎AOU財政基盤整備についての検討

◎各種委員会設置について(新春賀詞交歓会開催準備委員会を設置し5名の委員を選任。その他委員会については今後検討することにした)

◎第8回3団体「ゲームの日」について

◎その他(管理者証の交付について、AOU全国大会について、前事務局家屋差入保証金解約についての報告)

◎第8回3団体「ゲームの日」について

掲示してありますか?「AOUステッカー」!

～AOUの会員証・・・店舗の見やすい場所に～





オリジナル看板商品「にんにくたまごラーメン」を主とした飲食スペースから成り、「それぞれに魅力がないと複合店は成り立たない」との考えで、ゲームはもちろん飲食も充実させている。

そんな同店だけに、ゲームと飲食の融合を意識、「相乗効果」を狙ったイベントはお家芸だが、同社のモットーは「イベントはマンネリ化させない。期間限定で効果をあげる」。そしてそれを背景に、趣向を凝らした企画をいろいろ打ち出している。

例えば、「100円ラーメン」(今年4月から9月に実施)。「にんにくたまごラーメン」(480円、消費税込み)をはじめ、各種ラーメン、餃子、うどん、そば、カレー等々多彩なゆにろーずのメニューの中から、一般のラーメンを23日に限り100円で提供するというものだ。

「家族5人で1コイン。つまり、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お子さんの5人で食事して500円というわけです。ラーメンの割引なんてゲームの日には関係ないと思われるむきもあるかも知れませんが、現実には飲食だけのお客様は少ないですし、ゆにろーずのお客様はゲームと飲食あわせていくら、と予算を立ててる方が多いから」と、大野商事(株)の大野佳之常務は語る。もともとファミリーが多いとはいえ、この日は特にファミリー客が目立ち、これまで来店したことのない近所の中高年層の姿も珍しくないとか。

夏休み期間である7月23日と8月23日は、「ラーメンヘキサ」というイベントも併せて実施。これはメダル落としゲームを活用、飲食利用者専用台として、食後プレイしてもらおうという企画(プレイチケ

毎月23日は「ゲームの日」!



大野商事(株) (茨城県)

▲大野商事(株)
常務取締役
大野佳之氏

ゲーム、飲食との相乗効果を狙ったイベントで客層拡大

大野商事(株)(大野圭一社長、本社茨城県取手市)が茨城・千葉県内10ヶ所で展開する「ゆにろーず」は、郊外型複合店舗のはしり。景品機械から大型ビデオゲームまでを主としたアミューズメントスペース、同社開発のオ

ット)。ゲーム機にはスクラッチカードが入っており、当たりが出ればぬいぐるみ等の景品がゲットできる。

「飲食後のすべてのお客様にゲーム機に触れていただくことで、ゲームの楽しさをお伝えできれば、と始めました。ぬいぐるみの在庫処分にもなりますし(笑)」。

さらに、はずれのスクラッチカードでも、裏面に名前、住所等を記入して抽選箱に入れてもらう。10店舗の応募者全員から抽選で特賞を決定、翌月の23日午前8時に全店同時に当選者名を張り出した。

「この際の飲食のご利用は倍くらい」。

この他、ゲームプレイヤーへのサービスとして、**無料台を設置**。「もともと3年前から各店1台ずつ常に設置していた。無料とするのは一番人気のない機械でなくBランクのもの。お子さんからサラリーマンまでゲームのあいている時間がほとんどないほど好評なので、ゲームの日にはファン感謝の意味で無料台を増やすことにしたんです」。なお、これにより店内の滞在時間が伸びるケースが多く見られ、飲食部門にもいい影響を与えているという。

ゆにろーず各店では、不定期に新聞折り込みで店舗のPRに努めており(餃子無料券、ドリンクバー利用券、ゲーム券つき)、今後は「ゲームの日」に焦点をあて、特別イベント告知をもりこんだ広告を打つことも検討中とのこと。

「来年1月から新たなイベントを実施すべく企画中。乞うご期待」。

「現場の声」大募集!

23日の「ゲームの日」に実施したイベントのご報告をお待ちしています。

紙面に採用の場合には、AOUのオリジナルのほりを進呈。

なお、業界人の提言、AOUへ望むことなど現場の生の声も大募集。日頃、思っていることをメッパイ業界に向け発信してください。

(社)全日本アミューズメント施設営業者協会連合会
AOUニュース「現場の声」係
〒101-0041
東京都千代田区神田須田町1-4-1 TSI 須田町ビル6F
TEL (03) 3253-5671
FAX (03) 3253-5688
Eメール info@aou.or.jp



オペレーターエッセイ

～これからのオペレーター～

これからのオペレーターはどうすればよいのか?どのようにしたら生き残れるのだろうか? 少子高齢化に伴うゲーム人口の減少・出口のない消費不況・金融ビッグバンの爪跡、オペレーターを取り巻く環境は決して安泰ではありません。

私は今後、オペレーターは二極化していくと思っています。このサバイバルを生き抜くために、現状私は次のように考えています。

まず一つ目に「人財」の確保です。財産になり得る人材を育成することが不可欠である。一人一人が現場で自立的に物事を判断・行動し、経営者的な発想を身につけてもらうことが必要であり、そのような人材が最終的には持続的に発展しなければならないという会社組織に課せられた使命を達成できるものと思います。

もうひとつが「機械」の確保です。生鮮市場と同じように鮮度の保たれていない店舗にはお客様は足を運んでくれません。賞味期限切れではお客様もがっかりしてしまうでしょう。ゲームセンターにも同じことが言えるのです。それ故、毎月しっかりと

した投資が必要なのです。しかも厳密な投資計画と回収計画を基本にして機械投資を行わなければなりません。昨今の機械大型化に伴い、正確な計画なくしての投資は目隠しをして橋を渡るようなものです。気づいた時にはもう落ちてしまいます。もう悪い機械を無理してまで買う時代ではないのです。

最後に「サービス」の確保です。適正な利益を考え、お客様にも還元していくことが大切であると思います。これには前に述べた2つの事を兼ね備えながらトータル的なサービスの向上を考えなければなりません。それは機械投資によるサービスと、人財達によるサービスであり、他店との差別化を図る上で大変重要なものであります。基本であり、永遠のテーマでもあるのです。

全体に言える事ですが、当然のことながらやはり努力なくして成功は得られません。関わるすべての人がひとつの目標に向かって汗と涙を流す事によって、発展していくものだと私は確信しています。

(Y.T)

業界による善意の社会奉仕活動の一環として定着した「ファミユースメントラフ・イベント」。昨年は14の都道府県協会が参加しましたが、今年はさらに全国で数多く実施されます。AOUニュース11月号では「ファミユースメントラフ・イベント」の詳しい情報を掲載予定です。

です。各都道府県協会が立案した企画を10月31日(水)までに下記へご連絡ください。また、「ファミユースメントラフ・イベント」(ファミユースメントラフ・イベント)とも、開催後、実施内容をスナッフ写真等を添えてお送りください。開催実績を全国の会員にフィードバックすることで、次回以降の

さらに充実したイベント、より魅力ある「ゲームの日」実現につながられます。ご協力をお願いします。
TEL:011-0041
東京都千代田区神田須田町1-4-1 TSI須田町ビル
6F AOU内 3団体「ゲームの日」実行委員会

3団体「ゲームの日」のファミユースメントラフ・イベント
ファミユースメントラフ・イベントの内容を詳しく連絡ください



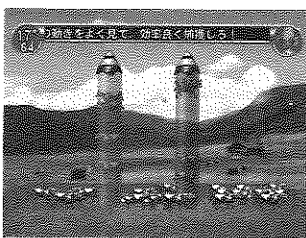
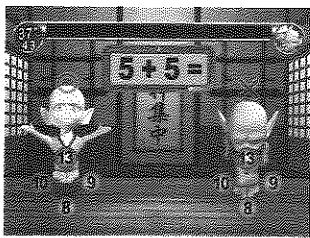
宇宙大作戦

チョコバーダー

CONTACTEE

大人気の「チョコバーダー」がゲーム業界に大侵略!

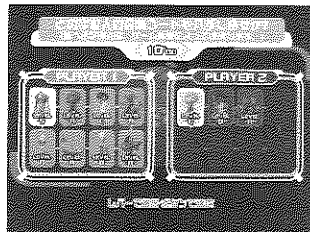
1 全24種類のミニゲームから5種類(1人用は4種類)を遊ぶ!



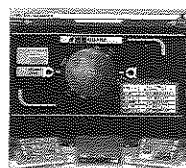
連打系、思考系など、簡単操作で笑えるゲームが満載!



総合成績に応じて「召喚コード」をゲット!



WEBゲーム「人類誘拐計画 アブダクション」を遊ぶ!



<http://www.abduction.jp>

仕様: 1ボタン、1レバー、ダブルコンパネ、横画面 SYSTEM 10 PCB

※仕様は予告なく変更される場合がございます。

© buildup/Global Rights 2001. Licensed by Global Rights.
© 2002 NAMCO LTD., ALL RIGHTS RESERVED
DynaFontは、DynaLab Inc.の登録商標です。

「遊び」をクリエイトする
株式会社ナムコ

AMセールズグループ(東) 〒146-8536 東京都大田区芝浦1-2-5 TEL:03(3756)8532 (代)
(大) 〒154-0023 大阪府吹田市江坂町1-21-26 TEL:06(6338)2511 (代)
(西) 〒912-0035 福井県福井市多度上字田2-12-24 TEL:092(474)5505 (代)